

かわさき アートニュース



川崎宿の歴史と文化をいまに伝える
東海道かわさき宿交流館 開館5周年!



東海道かわさき宿交流館
公認キャラクター 六さん

CONTENTS [目次]

- 02 | 特集 東海道かわさき宿交流館
「江戸時代の粋に遊ぶ」シリーズ
伝統芸能の奥深さを生で伝えたい
インタビュー:山縣基与志さん(ジャパノロジー・ミュージアム代表)
- 04 | 音楽 ミューザ川崎シンフォニーホール
- 07 | 歴史・文化 東海道かわさき宿交流館
- 08 | イベントレビュー
- 10 | 美術 市内ギャラリー情報
- 13 | 演劇 アルテリオ小劇場
- 14 | 映画 アルテリオ映像館



伝統芸能の奥深さを生で伝えたい 東海道かわさき宿交流館 「江戸時代の粋に遊ぶ」シリーズ

インタビュー／^{やまがたき よし}山縣基与志さん(ジャパノロジー・ミュージアム代表)

東海道かわさき宿交流館は、江戸時代に東海道五十三次の一つとして栄えた宿場・川崎宿の歴史や文化をいまに伝える、地域交流拠点施設です。今年10月に開館5周年を迎えます。

開館時から続く名物企画、さまざまな伝統芸能を体験付きで楽しめる「江戸時代の粋に遊ぶ」シリーズは、偶数月の土曜日に1回、計年6回開催中です。今回は、本シリーズのナビゲーターである、ジャパノロジー・ミュージアム代表・山縣基与志さんにお話を伺いました。

庶民の芸能を気軽に生で

——「江戸時代の粋に遊ぶ」シリーズはどのような公演ですか？

このシリーズは、伝統芸能をとにかく“生で”見て聴いて楽しんでもらいたいというのがコンセプトです。これまで浪曲、地歌、江戸曲独楽、常磐津、殺陣、水芸、太鼓持ちなど様々な芸能を取り上げ、8月の公演で33回目を迎えます。

体験ワークショップが大好評

公演の流れは、第一部に演者さんの舞台があり、その後私が話を伺います。休憩を挟んで第二部に体験ワークショップ、最後は質疑応答です。大体90分くらい。



プロフィール

山縣 基与志 Kiyoshi Yamagata

昭和37年生まれ。東京生まれ、東京育ち。文筆業、大学講師、プランナー。学生時代から旅を愛し、旅行作家として、アジア、ヨーロッパを中心に世界各国を長期取材し、ガイドブックの制作や各種雑誌に寄稿。外から日本を見たことで、日本文化・思想の素晴らしさと奥深さを再認識する。現在、日本の伝統文化を世代や国を超えて伝承するJAPANOLOGY MUSEUM主宰。文化を通じた各地の町おこしのプランニングや講演、執筆なども行っている。主な著書『日本人はそばのことを何も知らない』(学研)、『落語名作あらすじ55』(CCRE出版)、『龍馬が愛した町～幕末を歩く』(毎日コミュニケーションズ)など多数。日本民俗学会、日本旅行作家協会、国際二宮尊徳思想学会、各会員。

<http://www.japanology-museum.com/>

少しでも身近に芸能の心を感じてほしいので、毎回必ず、お客様にその芸能を体験していただくようにしています。例えば琵琶の回ですと、実際に弾いてみることで重さとか、こんなに演奏が大変なんだというのが分かります。江戸曲独楽だと独楽を手に乗ってみたり、紙切りだと桜の花を切ってみたり。

質疑応答も大事にしています。終わったらパッと帰ってしまうのではなく、実際に演者さんと話ができると親しみが湧きますよね。伝統芸能というと、敷居が高くてお高くとまっている雰囲気がありますが、もともとは庶民のものでありますから。語り物など昔の言葉は分かりにくいですが、大体分かればいいんです。このシリーズではその芸のエッセンスの部分を取り上げていますので、音でも、装束でも、なにか一つでも楽しいなと感じるきっかけを見つけていただければ嬉しいです。

ショーウィンドウの中では 伝わらない

——どうして“生”や“体験”にこだわられるようになったのですか？

私の実家が材木屋だったんです。子供の頃から職人さんに接する機会が多く、昔ながらの職人文化が大好きでした。それらを残したいという想いから、今は伝統文化・芸能・



体験ワークショップの様子(左:紙切り 右:お座敷遊び)

工芸含めて、つなぎ役みたいなことをやっています。大学で民俗学を研究したり、工芸のワークショップを開催したりもしていますが、やはり実際に触ってはじめて良さが分かるんですよ。漆器など、手に持つと、温度や質感が伝わってくる。それはショーウィンドウの中に入って何百万円と書いてあっても伝わりません。ただ「高い」で終わってはもったいないと思うんです。

タイトルにある“粋”とは、芯が通っているがそれを見せないこと。それは、裏では何十年も修行しながらそれを見せず軽やかに演じる伝統芸能にも通じます。テレビのない江戸時代は、芝居小屋で行われる芸能が庶民にとっての楽しみでしたので、そんな当時の人々のように、ぜび生の粋な芸に遊んで、伝統芸能の奥深さを感じてもらえればと思います。

——ラインナップを見ると、珍しい芸能がたくさんありますね。

こちらの交流館館長と「他所で観ることができないものを」と、相談しながら決めています。様々な実演芸術団体を統括している公益社団法人日本芸能実演家団体協議会にも協力をいただいています。

伝統芸能は、大きく分けると演劇、音楽、舞踊、演芸の4つに分類できます。歌舞伎や組踊などはまだ取り上げていないのですが、これまでだいたいのジャンルは網羅してきました。人間国宝の方やその芸能の第一人者の方にも出演いただいていますし、最近ばかりは切り口を変えて、三味線で“新内と常磐津はどう違うのか”をテーマにしたり、外国の方に出演いただき“外から見た日本文化”をテーマにしたりもしています。

アフロ三味線とは!?

——8月に出演されるワッシーさんは、黒人初の新内名取奏者だそうですね。「新内」やワッシーさんについて教えてください。

新内は、関西の浄瑠璃から枝分かれし、1760年頃に江戸浄瑠璃の一つとして確立した芸能です。“愛憎織りなす人間模様”をテーマに、情感を込めて三味線とともに語りあげるのが特徴で、かつての吉原などの花街や、おそらく川崎宿にも“新内流し”があり、身近に親しまれていました。

ワッシーさんはカメルーン出身で、もともとパーカッション(打楽器)をやっていた方です。日本の友達の家泊まった際、その親御さんの新内を聞いてとても感動したそうです。外国の方は、修行としてではなく楽しみとして芸能をやっている方が多いのですが、彼の場合は特に面白くて、もの悲しい情緒ある新内の音と彼のルーツであるアフリカンビートを組み合わせ、自ら「アフロ三味線」と銘打った音楽まで作り上げているんです。こちら8月に聴くことができます。喋りも上手で、またいい音出すんですね。日

本の芸能を多文化と“融合”させる取り組みは最近増えており、三味線の楽しさと可能性を感じてもらえると思います。

観られて育つ芸に発表の場を

——これまで特に印象に残っている演目がありますか?

水芸ですね。これは、やる場所もなければやる人もほぼいないのが現状です。舞台上で水が飛び交いますのでなかなか許可が下りず、照明を濡らして出入り禁止になった劇場もありました。そんな中、こちらでやらせていただけて。結果は大好評でした。本当に水がびゅーっと出るので、面白いですよ。ただ準備が大変! 舞台や天井を全てビニールで覆うんです。それが一番思い出に残っているというか、達成感がありました。昨年に引き続き今年の10月にやりますが、実はその間、他の劇場ではすべて断られてしまいました。演者はここでやるために一年間練習に励んでいます。芸はお客さんが育てるので、本来はもっと場数を踏みたいところなんですけどね。

伝統芸能の聖地に

——交流館は今年で開館5周年を迎えます。これから期待することはありますか?

オリンピックをきっかけに伝統芸能が注目を浴びていますが、お祭りが終わった後も、ちゃんと続くような形にしたいと思っています。だからこそ、この交流館のように地道に続けていく場所を残していけないといけません。定期的に伝統芸能の公演を行っている場所は、落語や浪曲、歌舞伎などの専用常設小屋以外は東京にもありませんから、この交流館は本当に素晴らしいし、感謝しています。“伝統芸能の聖地”にしてもらいたいですね。ここに来れば何か面白いことをやってるという風になったり、ここで初めて舞台を踏む人が出てきたり、



上)昨年開催した「水芸」の様子
右)8/25「新内」に出演の
ワッシー・ヴィンセントさん

水芸のようにここで発表するのが目標になったり、お客様にも演者にも喜ばれる、そんな場になってほしいです。

残すのも失くすのもお客様次第

——最後に観客の方々にメッセージをお願いします。

これからも選りすぐりの芸能をご披露して参ります。生の実演を気軽に観て聴いて、楽しんでください。伝統芸能は日本人の心であり、宝だと思います。これを残すのも失くすのもお客様次第です。伝統芸能は一生修行だと言われているほど、奥深いものです。このシリーズでその一端を垣間見て、親しんでいただき、応援していただければ幸いです!

公演概要

Information

●江戸時代の粋に遊ぶ その33 「新内」

2018.8.25(土)14:00開演(13:30開場)

[出演]ワッシー・ヴィンセント

※プロフィールはP7掲載

●江戸時代の粋に遊ぶ その34 「水芸」

2018.10.20(土)14:00開演(13:30開場)

[出演]松旭斎 正恵 ほか

[料金]1,500円(税込)

[定員]先着80名(自由席・事前予約不要)

[会場]東海道かわさき宿交流館 4階集会室

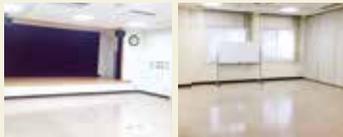
お得な回数券あります! 6回分7,000円

有効期限なし、家族や友人と一緒に使用可
お求めは東海道かわさき宿交流館まで

東海道かわさき宿交流館をもっと楽しもう!

貸出し施設

年中無休(年末年始除く)で午前9時~午後9時まで借りることができる集会室。低価格で、演劇や習字、合気道、楽器(要相談)の練習・発表など、幅広くご利用いただけます。ご予約は「ふれあいネット」(市公共施設利用予約システム)まで。



物販コーナー

東海道に関する書籍や、商工会議所と市がPRする地元商品を販売しています。1番人気はここでしか買えないオリジナル「広重東海道五拾三次」図録、2番人気は「餃子みそ」(かわさき餃子舗の会)です。



衣装体験や浮世絵階段

- 町人や旅人に加え、新しくお殿様、お姫様、忍者の衣装が増えました。浮世絵などを背景に記念写真を撮ることができ、家族連れや外国人に人気です。
- 館内の階段には、江戸日本橋から京都三条大橋まで続く、東海道五十三次の浮世絵が描かれています。川崎宿は品川宿に次ぐ2つ目の宿場なので3段目に。



市民の皆さんの声

- 生まれた町の歴史を知るスポットがあることに嬉しく思いました。
- このような施設があることを知らなかった、子供にも見せたい。
- 東海道ウォーク中で参考になりました。気軽に休憩できても休まりました。
- 歴史ガイドの方がとても親切で疑問にもよく答えて下さり面白かったです。
- 入場無料なのにきれいで人的サービスや展示内容もしっかりしていることに驚きました。

※展示の詳細はP7掲載



ミュージザ川崎シンフォニーホール おすすめ公演情報

オーケストラ・サウンドに包まれる休日の午後



飯森範親

ミュージザ川崎シンフォニーホール&東京交響楽団
名曲全集第140回

飯森と東響による、一人の作曲家に焦点をあてたプログラム。
2016年はベートーヴェンの交響曲第4番から第6番、
2017年はレスピーギのローマ三部作を、
そして2018年はストラヴィンスキーの3大バレエ音楽を取り上げる。

【日時】9月9日(日) 14:00開演

【出演】指揮:飯森範親 ピアノ:高橋優介*

【曲目】〈オール・ストラヴィンスキー・プログラム〉

組曲「火の鳥」(1945年版)／パトルーシュカ(1947年版)*／春の祭典

【チケット】S席6,000円 A席5,000円 B席4,000円 C席3,000円

当日学生券(小学生~25歳以下の学生)1,000円(要問合せ)



高橋優介

〜ドビュッシーの音世界をしなやかに、明快に描くピアノリズム〜

ホールアドバイザー小川典子企画
ドビュッシー没後100年記念
ピアノ・リサイタル

【日時】9月29日(土) 14:00開演

【出演】ピアノ:小川典子

【曲目】〈オール・ドビュッシー・プログラム〉
版画／映像第1集／映像第2集／
前奏曲集第1集(「亜麻色の髪の乙女」ほか)
喜びの島

【チケット】全席指定 一般:4,000円

🎫(小学生以上25歳以下)1,500円



小川典子

関連企画 レクチャー講座「没後100年のドビュッシー」

ドビュッシーの音楽や人生の本質に迫る!

9月22日(土) 14:00開始 ミューザ川崎4階市民交流室

【出演】青柳いづみこ、小川典子

【9月29日 小川典子ピアノ・リサイタル購入者限定企画】[応募締切:8/31(金)]

関連企画として、ドビュッシー研究の第一人者で文筆家・ピアニストの青柳いづみこ氏とピアニスト小川典子氏によるレクチャー講座を行います。※要事前申込み。また、9月29日のチケットご購入者が対象となります。下記の要領でメールにてお申込みください。

件名:ピアノ・レクチャー講座

本文:①お名前 ②ご住所 ③お電話番号 ④9/29購入チケットの座席番号(例:2CA 1列17番)

※入場無料です。※メール1通につき、1名様のご応募となります。ご購入者本人名義のみ有効です。

※応募多数の場合は抽選の上、9月7日までに結果発送いたします。※未就学児の入場はできません。

本公演の
購入者
限定!



Mozart Matinee

モーツァルト・マチネ

あなたの知らないモーツァルトと出会う。

休日朝の特別な1時間。



ユベール・スターン

ミュゼの「午前中のおたのしみ」として定着したモーツァルト・マチネ・シリーズも、2010年の開始以来9年目を迎えました。もともとはザルツブルク・モーツァルテウム管弦楽団で13年に渡り音楽監督を務めたユベール・スターン（東京交響楽団第2代音楽監督、現在は桂冠指揮者）のアイデアから生まれた企画。ザルツブルクのホールや教会で休日の午前に開催されている「モーツァルト・マチネ」を、川崎でも開催するようになったのがはじまりです。モーツァルトに関して高い評価を得ているスターンのもと、継続して取り組んだ結果、東京交響楽団のモーツァルトもまた好評を博すようになりました。

<人気の協奏曲・交響曲が聴ける>

これまでに様々な作品が「モーツァルト・マチネ」にて演奏されてきました。交響曲

はもちろんのこと、東京交響楽団員やソリストを招いての協奏曲も、毎回人気を博しています。いまや名実ともに日本人ピアニストの筆頭格となった小菅優は過去に2度出演、来年1月（第36回）にも弾き振りでピアノ協奏曲（第21番、第8番）を演奏します。



小菅 優

<意欲的なプログラミング>

シリーズ名のとおり、基本的にはモーツァルトの作品のみが演奏されるのですが、まれにそうではないことも。たとえば今年の4月（第29回、指揮：飯森範親）は「オール・モーツァルト？プログラム」として、モーツァルトの真作かどうか定かでない「交響曲第43番 へ長調」や、偽作の混じっているバレエ音楽「レ・プティ・リアン」などを並べて聞き比べる意欲的なプログラムでした。

いまやすっかり東京交響楽団とのコンビ

が定着したジョナサン・ノットは2014年に任期延長（2026年まで）を発表した翌年の2015年、モーツァルト・マチネに初登場しています。この時には「シュニトケ：ハイドン風モーツァルト」という、ノットらしいハイセンスな選曲で、鮮烈な印象を残しました。

<休日を爽やかに始めるためのモーツァルト>

お休みの日くらい、できれば朝寝坊したい…と思うところかもしれませんが、午前中のひとときをモーツァルトで爽やかに始められれば、あなたの休日はきっと一段と有意義なものになるはず。約60分と短めのプログラムなので、じつはお子様のコンサート体験にもぴったりです。次回のモーツァルト・マチネ第35回は生みの親であるユベール・スターンが久々に登場します！ぜひこの機会に、休日の午前中、ミュゼに出かけてみてはいかがでしょうか。



ジョナサン・ノット

モーツァルト・マチネ 第35回

日時 2018年10月6日（土）11:00 開演
指揮 ユベール・スターン
管弦楽 東京交響楽団
曲目 <オール・モーツァルト・プログラム>
交響曲 第38番 ニ長調「プラハ」K. 504
交響曲 第34番 ハ長調 K. 338

チケット 全席指定 3,500円
U25(小学生~25歳) 1,000円

{好評販売中}

スターン氏からのメッセージ

2010年、交響曲第1番からはじまったこのモーツァルト・マチネ・シリーズは、東京交響楽団と私の原点ともいえるプロジェクト。オーケストラの成長を感じます。

再びこの場で皆様にお会いできることはとてもうれしく、今から楽しみです。



U25でオーケストラデビュー!

若い方にもご来場いただきやすいよう、お求めやすい金額でご用意しています。お友達と、ご家族で、ぜひお越しください。

[お問合せ] ミュゼ川崎シンフォニーホール チケットセンター

窓口: ミュゼ川崎シンフォニーホール4F (10:00~19:00) TEL: 044-520-0200 (10:00~18:00)

ミュゼ

検索

フェスタサマーミュージア川崎2018 7/21~8/12

1 (水) 読売日本交響楽団 シネマ&ポッス S・A席僅少! 3名以上割: S席は3枚以上まとめてご購入で15%OFF! ￥5,000 ￥4,000 ￥3,000 U25:各席種半額

3 (金) 神奈川県フィルハーモニー管弦楽団 絶品フレンチII~天才サン=サーンス~ S・A席僅少! ￥4,000 ￥3,000 ￥2,000 U25:各席種半額

4 (土) NHK交響楽団 新時代の到来! 注目の新星とN響の共演 ￥5,000 ￥4,000 ￥3,000 U25:各席種半額

5 (日) 東京都交響楽団 鬼オミンコフスキのくるみ割り人形 S・A席僅少! ￥6,000 ￥4,000 ￥3,000 U25:各席種半額

8 (水) 昭和音楽大学 不滅のシェイクスピア・ワールド 全席指定 ¥1,000

9 (木) 日本フィルハーモニー交響楽団 音の風景~北歐・ロシア巡り 全席完売 全席完売

10 (金) 東京ニューシティ管弦楽団 センター争奪、灼熱のアリアバトル 3名以上割: S席は3枚以上まとめてご購入で15%OFF! ￥4,000 ￥3,000 ￥2,000 U25:各席種半額

11 (土祝) こどもフェスタ イッツ・ア・ピアノワールド 音楽を肌で体感しよう! 全席指定 大人 ¥1,500 / こども (4歳~中学3年生) ¥500

11 (土祝) 真夏のパッサリ 鈴木雅明パイプオルガン・リサイタル 指定 ¥2,500 / U25 ¥1,000

11 (土祝) 東京交響楽団フィナーレコンサート 祝バーンスタイン生誕100年 S・A席僅少! ￥5,000 ￥4,000 ￥3,000 U25:各席種半額

12 (日) ミューザ川崎シンフォニーホール&東京交響楽団 名曲全集第139回 ￥6,000 ￥5,000 ￥4,000 ￥3,000 当日学生券 ¥1,000

18 (土) 夏祭クラシックス2018 前売券 ¥2,000 (高校生以下 ¥1,000) 当日券 ¥2,500 (高校生以下 ¥1,500)

19 (日) オーケストラ・ダヴァーイ 第12回演奏会 全席自由 ¥1,500

25 (土) ミューザ川崎シンフォニーホール&東京交響楽団 名曲全集第139回 ￥6,000 ￥5,000 ￥4,000 ￥3,000 当日学生券 ¥1,000

26 (日) ミューザ川崎市民交響楽祭2018 (A) ¥1,500 (B) ¥1,000

28 (火) MUZAランチタイムコンサート 音と語りで楽しむ「セロ弾きのゴーシュ」 全席自由 ¥500

28 (火) MUZAナイトコンサート60 音と語りで楽しむ「セロ弾きのゴーシュ」 SS指定席 ¥2,000 自由席 ¥1,000

MUZA マークの付いた公演はホール主催または共催です。ミュージア川崎シンフォニーホール(044-520-0200)までお問合せ下さい。また、託児サービスのご用意がございます(一部、例外のある公演もございます)。



東海道かわさき宿交流館

TOKAIDO KAWASAKI SHUKU KORYUKAN



休館日：毎週月曜日。月曜が祝日の場合は、翌日が休館。

〒210-0001 川崎市川崎区本町1丁目8番地4 TEL.044-280-7321 FAX.044-280-7314 <http://www.kawasakishuku.jp/>
【アクセス】 京急川崎駅より徒歩6分、JR川崎駅中央東口もしくは北口東より徒歩10分



江戸時代の粋に遊ぶ その33

「新内」

日時：8月25日(土) 14時開演(13時30分開場)

料金：1,500円(税込)

定員：先着80名(自由席・事前予約不要)

会場：東海道かわさき宿交流館4階 集会室

出演：ワッシー・ヴィンセント

プロフィール

ワッシー・ヴィンセント

1961年5月5日生まれ。故郷カメルーンで音楽を学び、1989年カメルーン国立オーケストラでドラマーに抜擢される。1994年来日した際、日本の文化に魅了され、以来日本で暮らす。特に三味線の音色と独特のリズムに興味を持ち、新内の第一人者である富士松菊三郎氏に師事。2002年、大阪国立文楽劇場において、新内三味線の名取り、富士松ワッシーとなる。2018年、東京神田明神において、富士松菊和志(きくわし)を襲名。

3階企画展示

資料と写真にみる

かわさきの電車・市電・トロリー

— ひと昔前の電車・市電・トロリー乗客の姿や停留所風景 —

日時：8月7日(火)～9月17日(月・祝) 9時～17時

料金：無料

会場：東海道かわさき宿交流館3階 企画展示室



1959年(昭和34年)「市電」

展示－宿場時代の川崎(2階)

江戸時代の川崎宿の歴史や当時の情報があります。
旅人の衣装を着て記念撮影もできます。



展示－江戸から現代へ(3階)

明治以降の川崎市の歴史や、ゆかりの人物などの展示があります。



第9回 前座・二つ目 「お昼の落語」



前座は三遊亭ぐんまさん、二つ目は柳家ほたるさんでした。まずはぐんまさんから。名前が「ぐんま」だけに、やっぱり群馬県出身。三遊亭白鳥師匠の2番弟子だそうです。声も大きく、勢いがあり、活舌もいいので、将来に期待したい一人だと思いました。本題のお話は、『ガマの油』。中でも、大儲けした香具師が、酒を飲んで酔っ払ったバージョンの口上をするところが目玉でした。

続いては、ほたるさん。柳家権太楼師匠のお弟子さんだそうです。まくらの時の雰囲気明るく、お客の空気を読んで会場を楽しませようとする素質があるなと感じました。まず初めに『榎間腹(たいこぼら)』。太鼓持ちのお話。話を聞いているうちにほたるさんが本物の榎間のように見えてきたのか、お客さんの笑いが止まりませんでした。

中入りを挟み、再びほたるさんの登場。お題は『百川(ももかわ)』。江戸時代、実際にあった料亭を舞台にしたお話でした。特に田舎者のキャラクターが面白く、しゃべるたびにお客さんが笑いだしてました。また登場人物たち一人ひとりに対する表情が良かったです。

今回は9月19日(水)午後2時から始まります。どうぞお楽しみに。

(5月16日 東海道かわさき宿交流館)

MUZA こどもの日オープンハウス



毎年恒例となった「入場無料、出入り自由」のMUZAオープンハウス。パイプオルガンミニコンサート&照明ショーでは、今年からホールオルガニストに就任した大木麻理さんが弾く様子をステージ上で見られるコーナーもあり、子どもたちの目がきらきらと見つめる中「ドレミの歌」「パッヘルベル フーガ ハ長調」等が演奏されました。

スタンプリリー、フォトセッションのブースなどの他、ホール2Fロビーではミュージアの小さなプロデューサー・リトルミュージアの企画で「指揮者体験コーナー」が行われました。東京交響楽団員による弦楽四重奏団を实际

に指揮することができるとあって、たくさんの方にご参加いただきました。

(5月5日 ミューザ川崎シンフォニーホール)

MUZAランチタイムコンサート 心のメロディーを歌う



平日のお昼に気軽に音楽を聴くことのできる「ランチタイムコンサート」。この日は双子の姉妹ソプラデュオ、山田姉妹(山田華、山田麗)がミュージアに初登場しました。

「見上げてごらん夜の星を」などの歌謡曲から、本格的なオペラアリアまで幅広い曲で魅了しました。とりわけラストの「トルコ行進曲」は圧巻のパフォーマンスで、たくさんのお客様が惜しめない拍手と歓声を送っていました。(5月21日ミュージア川崎シンフォニーホール)

第43回 川崎大師薪能



能「鶉飼」観世芳伸 撮影：前島吉裕

天候にも恵まれ、多くの方々のご尽力により開催することができた薪能。会場となった川崎大師平間寺の境内は、常連の方や初めての方、通りすがりの方まで約650名のお客で賑わいました。開演前には出演者による解説もあるため、初心者の方でも安心して楽しむことができます。観世芳伸さん演じる能「鶉飼」では、夜な夜な松明をもって現れ鶉を使って漁をする老人の様子が、夏の訪れを感じさせると共に、薪能のかがり火や月夜の雰囲気とも相まって、幻想的な空気を生み出していました。自然と調和するお囃子や地謡の音も心地よく、クライマックスの閻魔大王の舞では、演者・奏者が一体となった躍動感のある舞台を堪能することができました。(5月22日 川崎大師平間寺)

【お客さまの声より】

- 狂言はストーリーが分かっておもしろかったです。(20代/女性)
- 幽玄の世界にどっぷりと入り込みました。(70代/女性)
- 出演者の厳肅な姿勢に見ていて身の引き締まる思いがしました。内容はよく分からないが日本の伝統芸能のすばらしさのようなものを体感しました。無言の響きのような迫力。(80代/男性)

江戸時代の粋に遊ぶシリーズ 第32回「都々逸」



柳家紫文さんと弟子の柳家小夏さんにお越しいただきました。紫文さんは、新内・長唄・常磐津・日本舞踊など7つの名取りを持つ芸達者な方です。

1部では、まず都々逸について解説して下さいました。都々逸は、三味線と共に歌われる「俗曲」。ちなみに民謡もその「俗曲」の一部だそうです。都々逸は7・7・7・5ですが、民謡や、アニソン、寅さんの口上も同じ7・7・7・5が多いんだとか。続いて演奏に入り、俗曲の「蛙ひょこひょこ」、「新内流し」でしっとりとした雰囲気にし、続いてお得意のネタ「長谷川平蔵」を披露してお客さんを笑わせました。

2部は、お客さんに都々逸を作ってもらい、紫文さんに評価していただきました。都々逸ってなんとなく「イキ」か「ツヤ」な感じがしていたのですが、紫文さん曰く、それよりも「オツ(乙)」を求めるものなんだそうです。どれも師匠から「面白い」と褒めていただき、初めは渋っていたお客さんも次第に気軽に書いて楽しんでいました。

(6月16日 東海道かわさき宿交流館)

しんゆりシアター劇団わが町試演会 芝居をつくろう〜いそっぷ詩より〜



©関口博吉

2012年旗揚げの市民劇団・劇団わが町が、谷川俊太郎がイソップ童話をモチーフに書き下ろした大人から子どもまで楽しめる詩集「いそっぷ詩」を題材に、ユーモアでナンセンス、それでいて少しブラックな物語の世界を様々な手法で表現した舞台。10回のワークショップの中で出演はもちろん、脚本・衣裳・小道具など出演以外のスタッフワークも劇団員中心で取り組みました。子ども向けと思われがちなのイソップ童話ですが、根底には紀元前6世紀から語り継がれる、いつの時代も変わらない人間の愚かさを描いています。今回は詩集の中から9作品をオムニバス形式でテンポ良く上演。コミカルな作品からシリアスな作品まで多様なラインナップが揃い、中には現代の視点に置き換えることにより身近に感じる話も。わが町版・風刺作品が出来上がりました。

(6月17日 アルテリオ小劇場)



アートガーデンかわさき

貸館案内 絵画、彫刻、造形、工芸、写真をはじめとするジャンルを超えたアートの発表の場です。自由に空間を演出していただけます。

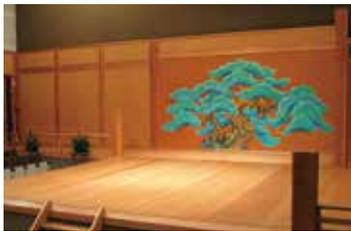
〒210-0007 川崎市川崎区駅前本町12-1 タワーリパーク3F
TEL.044-200-1415 FAX.044-222-8817
<http://www.kbz.or.jp/facility/artgarden/>
【アクセス】JR川崎駅北口東直結、京急川崎駅より徒歩2分



ミュージザ川崎シンフォニーホール

貸館案内 音楽ホール正面入口の向かいに位置する音楽工房は、ピアノの発表会、講演会、音楽練習、絵画等の創作活動の発表等、用途に応じてご利用いただけます。

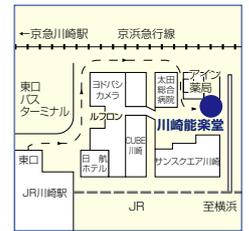
〒212-8557 川崎市幸区大宮町1310
TEL.044-520-0100 FAX.044-520-0103
<http://www.kawasaki-sym-hall.jp/>
【アクセス】JR川崎駅中央西口より徒歩3分、京急川崎駅より徒歩8分



川崎能楽堂

貸館案内 邦楽を中心に創意を生かしたパフォーマンスの稽古、発表、鑑賞の場としてご利用いただけます。

〒210-0024 川崎市川崎区日進町1-37
TEL.044-222-7995 FAX.044-222-1995
<http://www.kbz.or.jp/facility/noh/>
【アクセス】JR川崎駅中央東口より徒歩5分



東海道かわさき宿交流館

貸館案内 4階の集会室は、ふれあいネット(川崎市公共施設利用予約システム)にて利用予約が必要です。

〒210-0001 川崎市川崎区本町1丁目8番地4
TEL.044-280-7321 FAX.044-280-7314
<http://www.kawasakishuku.jp/>
【アクセス】京急川崎駅より徒歩6分、JR川崎駅中央東口もしくは北口東より徒歩10分



ラゾーナ川崎プラザソル

貸館案内 可動式ひな壇を使用したり、舞台と客席を自由に設定したりと、様々な催し物に対応。機材も充実、お客様の構想を基に、理想の空間づくりをお手伝いいたします。

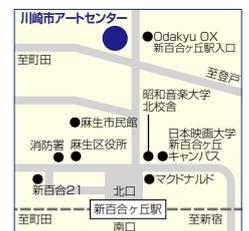
〒212-8576 川崎市幸区堀川町72-1 ラゾーナ川崎プラザ5F
TEL.044-874-8501 FAX.044-520-9151 <http://www.plazasol.jp/>
【アクセス】JR川崎駅中央西口より徒歩5分



川崎市アートセンター

貸館案内 アルテリオ小劇場では、演劇やミュージカル、コンサート、ダンス、発表会、セミナーなど様々な形態での利用が可能です。

〒215-0004 川崎市麻生区万福寺6-7-1
TEL.044-955-0107 FAX.044-959-2200
<http://kawasaki-ac.jp/>
【アクセス】小田急線「新百合ヶ丘駅」北口より徒歩3分



新百合トウェンティワンホール

貸館案内 450名収容の多目的ホールは、講演会、発表会、展示会、展示即売会、ギャラリーなど多彩な利用が可能です。

〒215-0004 川崎市麻生区万福寺1-2-2 新百合21地下2階
TEL.044-952-5000 FAX.044-952-1350
<http://shinyuri21hall.jp/>
【アクセス】小田急線「新百合ヶ丘駅」北口より徒歩2分



アートガーデンかわさき・市内ギャラリー・美術館等の展覧会情報

Event Calendar

- 掲載情報は原則入場無料です。ただし、有料マークのある施設は入場料が必要な催し物の情報が含まれています。
- 各施設とも、催し物の内容・会期・料金等が変更になる場合がございますので、ご確認の上ご来館ください。 □=休館日

2018.8

		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	
		Wed	Thu	Fri	Sat	Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat	Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat	Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat	Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	
アートガーデンかわさき(川崎区) 川崎区駅前本町12-1 川崎駅前タワー・パーク3F TEL.200-1415 【休館日】毎週月曜日 ※8/12(日)ビル点検のため休館	第1展示室																																
	第2展示室																																
	第3展示室																																
幸市民館市民ギャラリー(幸区) 幸区戸手本町1-11-2(幸文化センター内) TEL.541-3910 【休館日】第3月曜日(祝日と重なる場合は翌日)		夏休み臨時閲覧席 ~8月31日(金)		さいわい子どもエコフェア 8月9日(木)										夏休み臨時閲覧席 ~8月31日(金)																			
ミュージアム川崎シンフォニーホール 4F企画展示室(幸区) 幸区大宮町1310 TEL.520-0300 【休館日】8/20(月)		音楽へのまなざし 堀田正矩 追悼展 ~8月12日(日)※6・7日休室																															
中原市民館市民ギャラリー(中原区) 中原区新丸子東3-1100-12 パークシティ武蔵小杉ミッドスカイタワー1・2階 TEL.433-7773 【休館日】第3月曜日(祝日と重なる場合は翌日)		桂の会展 ~8月1日(水)	川崎市立橋高等学校漫画研究部 夏季イラスト展 8月3日(金)~8日(水)					中原油絵研究会 作品展 8月10日(金)~15日(水)					夢見絵画会 グループ展 8月17日(金)~22日(水)※20日休館					静雅書道会 中原地域展 8月24日(金)~26日(日)															
川崎市市民ミュージアム(中原区) 中原区等々力1-2(等々力緑地内) TEL.754-4500 【休館日】毎週月曜日(祝日の場合は開館)		有料 かこさとしのひみつ展 - だるまちゃんとさがしにいこう - (2F企画展示室1) ~9月9日(日) 観覧料:一般600円、65歳以上・大学生・高校生450円、中学生以下無料															『どろぼうがっこう』借成社刊 ©1973, Satoshi KAKO																
		昔のくらしと家庭の道具 (2F企画展示室2) ~9月9日(日)																															
		時習学校と文山先生 - 川崎初の私立中学校 - (2Fアートギャラリー1) 8月4日(土)~9月17日(月・祝)																															
		ロシア革命とグラフィック表現 - ソビエト絵本とその時代 (2Fアートギャラリー3) 8月4日(土)~9月17日(月・祝)																															
高津市民館市民ギャラリー(高津区) 高津区溝口1-4-1 ノクティ2(12F) TEL.814-7603 【休館日】第3月曜日(祝日と重なる場合は翌日)		広彩会 展示会 ~8月1日(水)	香樹会 第10回 桜を描く和紙絵画 8月3日(金)~8日(水)					川崎スケッチ会展 8月10日(金)~15日(水)					カメカメ元気会 わが子いちばん展 8月17日(金)~22日(水)※20日休館					第22回 日本水彩画会神奈川支部小品展 8月24日(金)~29日(水) 8月31日(金)~9月5日(水) 彩会展															
宮前市民館市民ギャラリー(宮前区) 宮前区宮前平2-20-4 TEL.888-3911 【休館日】第3月曜日(祝日と重なる場合は翌日)		押花と山の幸染めを 楽しむ作品展 ~8月1日(水)					宮前連絡会 作品展(織物・陶芸・木工他) 8月3日(金)~8日(水)					夏休み子どもあそびランド 2018 8月19日(日)					第20回 響け!みやまえ太鼓ミーティング 8月25日(土)																
多摩市民館市民ギャラリー(多摩区) 多摩区登戸1775-1(多摩区総合庁舎内) TEL.935-3333 【休館日】第3月曜日(祝日と重なる場合は翌日)		クールシェア推進事業 ~9月5日(水)※8月20日休館																															
川崎市岡本太郎美術館(多摩区) 多摩区枳形7-1-5 TEL.900-9898 【休館日】毎週月曜日(祝日の場合は開館)		企画展	有料 企画展「街の中の岡本太郎 パブリックアートの世界」展 ~9月24日(月・祝) 観覧料:一般900円、高校・大学生・65歳以上700円、中学生以下無料 ※常設展もあわせてご覧いただけます。																														
		常設展	有料 常設展「岡本太郎とからだ」展 ~9月24日(月・祝) 観覧料:企画展観覧料に準ずる。																														
麻生市民館市民ギャラリー(麻生区) 麻生区万福寺1-5-2 TEL.951-1300 【休館日】第3月曜日(祝日と重なる場合は翌日)		木鳥・ 焼絵の展示 ~8月1日(水)					陶芸のつどい 8月3日(金)~8日(水)					多摩油彩研究会 作品展 8月17日(金)~22日(水)※20日休館					新ゆり絵画研究会 水彩画・パステ画作品展 8月24日(金)~29日(水) 8月31日(金)~9月5日(水) 第20回 墨水会作品展																

(注)会期、時間等は各団体により、変更になることがありますので、ご確認の上ご来場ください。

川崎市市民ミュージアム〈中原区〉

企画展／開催中～9月9日(日)

かこさとしのひみつ展 —だるまちゃんとさがしにいこう—

『だるまちゃんとてんぐちゃん』や『からすのパンやさん』などで知られる絵本作家かこさとし。半世紀以上にわたった創作の原点である、幸区古市場でのセツルメント活動を紹介しますほか、その創作の秘密に迫ります。



©1973.Satoshi KAKO

観覧料等

- 会場：2F企画展示室1
- 観覧料：一般600円(480円)、65歳以上・大学生・高校生450円(360円)、中学生以下無料 ※()内は20名以上の団体料金です。 ※障害者手帳等をお持ちの方およびその介護者は無料。

企画展／開催中～9月9日(日)

昔のくらしと家庭の道具

約150年前～50年前までの人々のくらしの変化について、生活用具の移り変わりから紹介します。衣食住にかかわる道具や、茶の間や囲炉裏の再現模型を展示するほか、昔の道具に触れる体験コーナーを設置します。



観覧料等

- 会場：2F企画展示室2 ● 観覧料：無料

企画展／8月4日(土)～9月17日(月・祝)

時習学校と文山先生

—川崎初の私立中学校—

明治18年、宗澤文山は現在の中原区下小田中の安楽寺内に、川崎市内初の私立中学校を創設しました。

40年書き続けられた文山日記や貴重な教科書類などから、市内の学校教育について振り返ります。



時習学校創設者 宗澤文山

観覧料等

- 会場：2Fアートギャラリー1 ● 観覧料：無料

ロシア革命とグラフィック表現

—ソビエト絵本とその時代—

本展では、収蔵品のポスターと、1920～30年代にソビエトで制作された絵本を中心に、革命後の激動の時代をご紹介します。



ウラジミール・マヤコフスキー(400,3000ブードの粉) (ロスタの窓より)(川崎市市民ミュージアム所蔵)

観覧料等

- 会場：2Fアートギャラリー3 ● 観覧料：無料

映画上映／1F映像ホール／当日先着270名

映画で見る昔のこどもたち

企画展『昔のくらしと家庭の道具』に連携し、昔のこどもたちのくらしを描いた名作映画を所蔵作品より上映します。昭和初期から戦中・戦後、それぞれの時代の情景とともに普遍的なこどもたちのドラマをご覧ください。



『みんなわが子』

- 8月の上映作品：『みんなわが子』、『二つのハーモニカ』、『夜あけ朝あけ』、『ある子守の詩』

※上映スケジュールはHPまたはお電話でお問い合わせください。

上映日・料金等

- 上映日：8月4日(土)～8月18日(土)の土日 11:00～/14:00～
- 料金：1プログラムにつき 一般600円/65歳以上・大学生・高校生500円/小中学生400円 ※未就学児、障害者手帳等をお持ちの方及びその介護者無料。

■ナイトミュージアム!

夏休み期間中の土曜日、8月4・11・18日は、19:00まで開館時間を延長します(18:30最終入館)。ごゆっくりと企画展やイベントをお楽しみください!

※その他、イベントの詳細は当館ホームページをご覧ください。
<http://www.kawasaki-museum.jp/event/>

中原区等々力1-2(等々力緑地内) TEL.754-4500 FAX.754-4533
【アクセス】武蔵小杉駅北口バス約10分、溝の口駅ノキティ側バス約20分
【開館時間】9:30～17:00(入館16:30まで)
【休館日】月曜日
<http://www.kawasaki-museum.jp/>

● ホームページ、Twitter、Facebook、Instagramにて情報発信中!



川崎市岡本太郎美術館〈多摩区〉

有料

常設展／開催中～9月24日(月・祝)

「岡本太郎とからだ」展

岡本太郎は、絵画や彫刻など多くの作品のなかで「からだ」を表現しています。絵画では、生きものが岡本独特の色や形で描かれますが、全身像が描かれた作品や、顔や眼、手などからだの部分モチーフとした作品などがあります。彫刻やインテリアでも、多くの作品が生きものの姿や顔、手などをモチーフとして作られています。

本展では、絵画や彫刻、インテリア作品など岡本太郎の作品のなかであらわされた多様な「からだ」の表現を、「身体(からだ)」「顔」「眼」「手」という4つのテーマで紹介します。



(踊り)1982年 FRP

企画展／開催中～9月24日(月・祝)

「街の中の岡本太郎 パブリックアートの世界」展

岡本太郎が公園や学校などパブリックな空間に創作した作品は、全国に70ヶ所140以上に及びます。岡本は、作品が個人の所有物となることを拒みつけ、誰でもいつでも見ることの出来るパブリックな空間に作品を創り続けました。そこには「芸術のための芸術」ではなく、芸術が我々の日常空間にあって社会と人間とをつなげる不可欠な存在であり、生命の根源的喜びと感動を呼び覚ますという彼の芸術理念が貫かれていました。

本展は、日本万国博覧会テーマ館(太陽の塔)のリニューアルを記念して、岡本が生涯を通じて社会に打ち出したパブリック作品を俯瞰するものです。場との迎合を否定し、対立することでお互いの個性を生かすという岡本の作品に込められた思いと、社会に打ち出されたメッセージを知る機会となることを願っています。



(太陽の塔)1970年 大阪・吹田

観覧料等

- 料金：一般900(720)円、高校・大学生・65歳以上700(560)円、中学生以下は無料 ※()は20名以上の団体料金 ※常設展もあわせてご覧いただけます。

休館日：月曜日(祝日は除く)、祝日の翌日

〈関連イベント〉

■ 魁れ!!バーチャルリアリティ 太陽の塔

日本工業大学の学生によるVRコンテンツを体験。1970年万国博当時の「太陽の塔」と内部の「生命の樹」をVRで体験します。

- 日時：8月11日(土・祝)～8月19日(日)(8月13日(月)を除く) 11:00～16:30
- 場所：企画展示室 ● 料金：観覧料のみ(中学生以下は無料)



■ モザイクアートをつくろう!

太郎の様々な作品で用いられている「モザイクアート」をコースター作りで体験します。

- 日時：8月11日(土・祝)、8月12日(日)10:00～16:00
- 場所：美術館ギャラリースペース ● 料金：1枚300円
- 定員：1日50名まで誰でも参加できます。



〈その他イベント〉

■ TARO缶バッジをつくろう

各回先着50名限定!自分だけのオリジナルTARO缶バッジをつくろう!

- 日時：8月19日(日)1回目11:00～/2回目14:00～ ● 場所：ガイダンスホール
- 料金：観覧料のみ ● 定員：各回先着50名
- 申込：当日、美術館エントランスにて、整理券を配布いたします。 1回目10:00～/2回目13:00～ ※複数回のお申込みはご遠慮ください。

■ プレミアムTAROナイト

一年のうち1日だけ行われる母の塔のライトアップを見ながら、夏の夜を楽しみませんか?当日はBarTAROも開店します。

- 日時：8月24日(金)17:00～20:00
- ※17時以降は観覧料2割引き(他の割引との併用不可)となります



※その他、イベントの詳細は当館ホームページをご覧ください。
<http://www.taromuseum.jp>

多摩区併7-1-5 TEL.900-9898 FAX.900-9966
【アクセス】小田急線向ヶ丘遊園駅南口徒歩17分、北口バス約10分
専修大学前下車徒歩6分
【開館時間】9:30～17:00(入館16:30まで)
【休館日】月曜日(祝日は除く)、祝日の翌日
<http://www.taromuseum.jp>

● ホームページ、Facebookにて情報発信中



アルテリオ小劇場

しんゆりジャズスクエアvol.35

Autumn in SHINYURI



守屋純子(P)

岡崎好朗(Tp)

池田雅明(Tb)

今野颯平(B)

荒山 諒(Ds)

江澤 茜(As)

ゲストアーティスト:wayjo

ジャズの名曲の数々を、昭和音楽大学講師・卒業生による豪華なビッグコンボ編成でお届けします！

豪州パースからはスペシャルゲストwayjoも参加！

〈予定曲〉「Fascination` Rhythm」 「The Entertainer」 「In A Mellow Tone」 ほか

2018年9月28日(金) 19:00開演 ※開場は開演の30分前

【出演者】守屋純子(P)、岡崎好朗(Tp)、池田雅明(Tb)、今野颯平(B)、荒山 諒(Ds)、江澤 茜(As) / ゲストアーティスト:wayjo

【チケット】一般2,500円(全席自由・税込) ※セット券(2枚セット券:4,500円 / 4枚セット券:8,500円)

※障がい者割引もごさいます。詳細はお問合せください。

- 【チケット取扱い】 ● 電話 エリアブレイン 044-954-9990(月～金、10:00～18:00)
 ● web 川崎市アートセンター <http://kawasaki-ac.jp/th/>
 ● 窓口 川崎市アートセンター 9:00～19:30(原則毎月第二月曜除く) ほか

昭和音楽大学ミュージカル公演2018

夢遊病の娘 ～夢みるように殺したい～

作・演出:横山由和 音楽:西村勝行・藤代敏裕 音楽監督:西村勝行

振付:酒井麻也子・祝利美杏 歌唱指導:萩原かおり

昭和音楽大学教授・横山由和の新作ミュージカル！

なんと舞台は「昭和の初め、東北の温泉宿」！果たしてどんな横山ワールドが繰り広げられるか乞うご期待！

2018年9月22日(土)～23日(日・祝)

22(土)14:00 / 18:00開演、23(日・祝)13:00開演

【出演者】小西萌子、蛭牟田実里、酒井良太、村岸優希、ユーリック武蔵、白鳥光夏、石岡航太、山梨史奈、吉岡朋子、的場昂士 ほか

【チケット】一般3,000円、学生1,000円(全席自由・税込)

※未就学児童のご入場はご遠慮下さい。

- 【チケット取扱い】 ● 電話予約・窓口販売
 昭和音楽大学チケットセンター 044-953-9899
 昭和音楽大学南校舎内 平日10:00～18:00(12:00～13:00・土日祝・8/11～15除く)
 ● 窓口販売
 川崎市アートセンター 9:00～19:30(原則第2月曜日除く)
 昭和音楽大学北校舎 平日10:00～18:00(12:00～13:00・土日祝・8/11～15除く)
 マイタウン21チケットセンター新百合ヶ丘マプル「写真工房 彩」内 9:00～21:00(不定休)
 ● インターネット
 昭和音楽大学ホームページ <http://www.tosei-showa-music.ac.jp/concert>

主催 昭和音楽大学 / 共催 川崎市アートセンター



前回公演2016年「シェアルーム!?ともと暮らせば～みんなの2DK～」

貸館のご案内

アルテリオ小劇場では施設の貸出を行っております。演劇やミュージカル、コンサート、ダンス、発表会、セミナーなど様々な形態でご利用頂くことが可能です。基本形式193席の客席を有し、3室可動間仕切りの楽屋や工房(舞台の道具作成や楽屋代わりとしてもご利用可)もごさいます。詳細はWEBまたは川崎市アートセンターまでお問い合わせください。

お問合せ:川崎市アートセンター TEL.044-955-0107 <http://kawasaki-ac.jp>



映画
タイムマシン
vol.6

8.11(土・祝)～8.17(金) 10:00の回 ※13(月)は休映

映画タイムマシンとは…映画というタイムマシンに乗ってさまざまな時代を覗いてみようという企画。弁士あり、映画音楽ありで、ご家族でお楽しみいただけます。



©1930松竹株式会社

落第はしたけれど

8.11(土・祝)★、17(金)♪

1930年|日本|白黒|スタンダード|サイレント|35mm|1h07

監督:小津安二郎

出演:斎藤達雄、田中絹代、月田一郎、笠智衆

大学の卒業試験を間近に控えた落第生たちの奮闘を描く喜劇。



©1933松竹株式会社

恋の花咲く伊豆の踊子

8.12(日)★、16(木)♪

1933年|日本|白黒|スタンダード|サイレント|35mm|1h33

監督:五所平之助

出演:田中絹代、大日方傳、小林十九二、若水絹子

川端康成原作の小説の、最初に映画化された作品。旅をする学生と踊子の淡い恋を描く。



©日活

次郎物語

8.14(火)、15(水)

1941年|日本|白黒|スタンダード|16mm|1h13

監督:島耕二

出演:井染四郎、村田知栄子、杉村春子、杉幸彦、杉裕之

乳母のもとで育てられた次郎は、7歳になり親元に戻されるが…。少年の成長を描く感動作。

★8/11(土・祝)と12(日)は大森くみこさん(弁士)の活弁★柳下美恵さん(サイレント映画ピアニスト)のピアノ演奏付き

♪8/16(木)と17(金)は柳下美恵さん(サイレント映画ピアニスト)のピアノ演奏付き



Copyright © Why Not Productions, Channel Four Television Corporation, and The British Film Institute 2017. All Rights Reserved. ©Alison Cohen Rosa / Why Not Productions

ビューティフル・デイ

7.28(土)～8.10(金)

2017年|イギリス|カラー|シネスコ|1h30|DCP|PG12

監督・脚本:リン・ラムジー

出演:ホアキン・フェニックス、エカテリーナ・サムソフ、ジュディス・ロバーツ、ジョン・ドーマン

行方不明者の捜索を稼業にする元海兵隊員のジョーは、政治家の娘の救出を依頼される。カンヌ映画祭で脚本賞と男優賞の2冠に輝いたスタイリッシュ・アクション。怪優ホアキン・フェニックス演じる主人公の行動をひたすら描き、息詰まる活劇空間を構築していく。



©2018「フジコ・ヘミングの時間」フィルムパートナーズ

フジコ・ヘミングの時間

7.28(土)～8.24(金)

2018年|日本|カラー|ビスタ|1h55|DCP

監督:小松莊一良

ナレーション:三浦透子

出演:フジコ・ヘミング、大月ウルフ

60代でデビューし、80代となった今も世界中で活躍するフジコ・ヘミング。1999年にNHKの番組が大反響を呼びブームとなった後も、着実な歩みを続けた姿を、初公開のプライベートとともに描く傑作ドキュメンタリー。ラストの5分におよぶラ・カンパネラも圧巻。



photo by Jessica Miglio © 2017 GRAVIER PRODUCTIONS, INC.

女と男の観覧車

8.4(土)～8.17(金)

2017年|アメリカ|カラー|ビスタ|1h41|DCP

監督・脚本:ウディ・アレン

出演:ケイト・ウィンスレット、ジャスティン・ティンバーレイク、ジム・ペルシー、ジュノー・テンプル

1950年代、ニューヨーク・コニーアイランドのレストランでウェイトレスとして働くジニーの日々は、ギャングと駆け落ちして音信不通になっていた夫の娘が現れたことから、狂い始める。ケイト・ウィンスレットを主演に迎えたウディ・アレン監督最新作。

告白小説、その結末

8.4(土)~8.17(金)

2017年|フランス、ベルギー、ポーランド|カラー|シネスコ|1h40|DCP

監督:ロマン・ポランスキー

出演:エマニュエル・セニエ、エヴァ・グリーン、ヴァンサン・ペレーズ

スランプに陥っているベストセラー作家の前にある日、熱狂的なファンだと称する聡明で美しい女性エル(彼女)が現れる。やがて、エルの壮絶な人生を小説にしようと決意するが、その先には悪夢のような“結末”が待ち受けていた…。巨匠ロマン・ポランスキーが仕掛けた戦慄のミステリー。



©2017 WY Productions, RP Productions, Mars Films, France 2 Cinéma, Monolith Films. All Rights Reserved.

ガザの美容室

8.4(土)~8.17(金)

2016年|パレスチナ、フランス、カタール|カラー|シネスコ|1h24|DCP

監督・脚本:タルザン&アラブ・ナサル

出演:ヒアム・アッバス、マイサ・アブドゥ・エルハディ、マナル・アワード

パレスチナ・ガザでクリスティンが経営する美容室は、女性客でにぎわっている。しかし通りの向こうで銃が発砲され、美容室は戦火の中に取り残される。小さな美容室を舞台に、戦争状態という日常をたくましく生きる女性たちを描く。ガザで生まれ育った双子の監督タルザン&アラブ・ナサルによる初の長編作。



大いなる幻影 デジタル修復版

8.18(土)~8.24(金)

1937年|フランス|白黒|スタンダード|1h54|DCP

監督:ジャン・ルノワール

台詞・脚本:ジャン・ルノワール、シャルル・スパーク

出演:ジャン・ギャバン、エリッヒ・フォン・シュトロハイム、ピエール・フレネー、ディタ・バルロ

第1次世界大戦、ドイツの捕虜収容所を舞台に、自由を求めて脱走を繰り返すフランス人将校たちを描く。名優ジャン・ギャバンの代表作にして、名監督ジャン・ルノワールの最高傑作。捕虜収容所のなかで、様々な国籍と出自の人々が織り成す人間模様は圧巻の面白さ。



©1937 STUDIOCANAL. All rights reserved

セラヴィ!

8.18(土)~8.31(金)

2017年|フランス|カラー|ビスタ|1h57|DCP

監督:エリック・トレダノ&オリヴィエ・ナカシュ

出演:ジャン=ピエール・バクリ、ジャン=ポール・ルーヴ、ヴァンサン・マケニュー

ウェディングプランナーとして活躍してきたマックスは、そろそろ引退を考えていた。ある日、パリ郊外にある17世紀の城を舞台に豪華絢爛の結婚式の依頼が舞い込む。しかし、集まったスタッフの強い個性に翻弄され、トラブル続出の大惨事となり…。フランスの超個性派俳優たちが大集結した新たなフレンチコメディの傑作。



©2017 QUAD+TEN / GAUMONT / TF1 FILMS PRODUCTION / PANACHE PRODUCTIONS / LA COMPAGNIE CINEMATOGRAPHIQUE

川崎市アートセンター

〒215-0004 神奈川県 川崎市 麻生区万福寺6-7-1
 Tel. 044-955-0107 Fax. 044-959-2200
 info@kawasaki-ac.jp http://kawasaki-ac.jp/

小田急線「新百合ヶ丘駅」北口より徒歩3分

- ◆映画のチケットは9:00より受付にて販売
- ◆自由席、整理番号順入場、立見不可

川崎市アートセンター

津久井道(世田谷町田線) ●Odakyu OX 新百合ヶ丘駅入口

●麻生市民館 ●麻生区役所 ●日本映画大学 ●新百合ヶ丘キャンパス

●昭和音楽大学北校舎 ●マクドナルド

小田急線 新百合ヶ丘駅 北口 南口

←町田 新宿→

毎月

第三火曜日
のお楽しみ
2018



ラゾーナ密席

第74回

2018年

8月21日(火) 17:30受付開始/18:00開場/18:30開演

※当日券は18:00から販売します

- 会場…ラゾーナ川崎プラザソル
〒212-8576 川崎市幸区堀川町72-1 ラゾーナ川崎プラザ5F
- 出演…神田陽子(講談)・桂米多朗・春風亭吉好・三遊亭馬ん長
- 入場料…全席自由2,000円・25歳以下1,000円
(終演後のおたのしみ“交流会”…希望者のみ・参加費1,500円)
- 予約・お問合せ／ラゾーナ川崎プラザソル
電話 044-874-8501 FAX 044-520-9151
E-mail: info@plazasol.jp http://www.plazasol.jp



神田陽子

夏びつたりの
涼しいお話を
お届け



青の素第3回公演

『雨上がりには好きだといって』

[会場] ラゾーナ川崎プラザソル (JR川崎駅直結徒歩5分 ラゾーナ川崎プラザ5F)

[タイムテーブル] ※開場は開演の30分前。受付は40分前。※上演時間は約2時間 (途中休憩有り)

8月10日(金) 18:00 [短編/アインブラットの本]

11日(土) 13:00 [短編/ノウェンの音A]、18:00 [アインブラットの本/ノウェンの音B]

12日(日) 12:00 [短編/ノウェンの音B]、16:00 [アインブラットの本/ノウェンの音A]

[チケット] ※日時指定、全席自由

一般/2,000円 U-22/1,500円 高校生以下/1,000円

[演目紹介]

『アインブラットの本』それは、君に伝えたいたったひとつの言葉を探す旅。

『ノウェンの音』それは、誰にも見向きもされずに、見つけれられるのをじっと待ってる。

短編『小さな物語』参加者の学生が脚本・演出を担当した、各10分程度の作品を3本上演。

[チケット予約・問合せ] <http://ticket.corich.jp/apply/92816/002/>

Mail: ao@nijinomoto.com

チケット予約ページ▶



青の素とは
横浜・川崎に一般公募した中学生から大学生で構成された団体。演劇のワークショップから公演という形の発表までを、県内で活動する劇団「虹の素」がトータルサポートする青少年のための演劇公演プロジェクト。



主催 ● 芸術によるまちづくり・かわさき2018実行委員会/川崎市 共催 ● 公益財団法人川崎市文化財団/川崎インキュベーター
後援 ● 川崎市教育委員会 平成30年度 文化庁文化芸術創造拠点形成事業



公益財団法人 川崎市文化財団

〒212-8554 川崎市幸区大宮町1310 ミューザ川崎セントラルタワー5階
TEL.044(272)7366 FAX.044(544)9647 <http://www.kbz.or.jp>
平成30年8月1日発行

かわさきアートニュースの制作には、川崎市文化振興基金が活用されています。

川崎市文化財団 検索

●印刷・製本/八幡印刷(株) TEL.044-542-2311